

第7回一関市総合計画審議会 会議録

1 会議名 平成27年度第7回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成27年11月4日(木) 午後1時30分から3時20分まで

3 開催場所 一関市役所議会棟議員全員協議会室

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 22人

阿部新一委員、及川忠委員、小山亜希子委員、金野久美委員、小岩邦弘委員、坂本紀夫委員、佐藤芳郎委員、菅原行奈委員、菅原勇委員、高橋雅弘委員、千田博委員、千葉博委員、千葉真美子委員、槻山チエ委員、徳谷喜久子委員(副会長)、永山克男委員、永澤由利委員、沼倉恵子委員、畠中良之委員(会長)、原田哲委員、松岡千賀子委員、三浦幹夫委員

(欠席委員 5人)

及川修三委員、小山麗子委員、木村静恵委員、菅原五三男委員、水谷みさえ委員

(2) 市出席者 5人

勝部修市長、佐藤善仁市長公室長、千葉敏紀政策企画課長、藤島修政策企画課主幹、菊地絵理子政策企画課主任主事

5 会長挨拶

前期基本計画の策定の審議をお願いし、今年度7回の総合計画審議会とプロジェクトチーム会議を2回開催し、本日答申を行うこととなった。ここまで至ったのは、市長公室の皆様をはじめ、委員の皆様のお力によるものであり深く感謝申し上げます。

6 議 題 (1) 総合計画前期基本計画の策定について

総合計画前期基本計画答申案について【資料No.24】

総合計画前期基本計画比較表【資料No.25】

総合計画審議会委員からの意見への対応について【資料No.26】

主な指標一覧表【資料No.27】

7 審 議

(1) 総合計画前期基本計画の策定について

総合計画前期基本計画答申案について【資料No.24】

総合計画前期基本計画比較表【資料No.25】

総合計画審議会委員からの意見への対応について【資料No.26】

主な指標一覧表【資料No.27】

事務局から資料の説明を行い、質疑・意見を求めた。

【質疑・意見等】

① 審議会委員意見

2-3 公共交通に一ノ関駅周辺の駐車場の整備を入れていただいたが、商店街周辺の駐車場不足は一関地域に限ったことではないと思うので、1-3 商業・サービス業に商店街周辺の駐車場整備について追加を検討してほしい。

・ 事務局

商店街周辺の駐車場不足について、全地域で必要かどうか実態はまだ不明なところがある。課題として認識しているが、実態把握が先となる。

また、前期基本計画は5年間の事業の展開方向を示すものであり、現時点で一ノ関駅周辺以外について駐車場整備の予定はなく、5年間のうちに事業に取り込めるかどうか未定だ。

② 審議会委員意見

栗駒山の噴火について、今回、上水道に代替水源の確保という形で追加していただいた。先日、国土交通省の方と話をする機会があったので確認したところ、国土交通省で栗駒山が噴火した当時の被害等は把握していない、認識していないということだった。上水道に限ったことではなく、災害に対しての備えを行っていくべきである。

・ 事務局

4-6 上水道に災害に強い水道を目指した記載を行い、火山噴火のみではなく広い意味で災害に備えることとしたもの。栗駒山の噴火については、5-6 防災の分野でも現状と課題に記載したほか、施策の展開においても火山対策の推進について記載している。これは、現総合計画には記載のないものであり、まさに現在取り組んでいる部分を記載したものである。平成27年3月に栗駒山火山防災協議会が設置されたところであり、今後調査観測をしていくこととしている。

③ 審議会委員意見

防災分野の文言を見ると、まだまだ災害に対しての取組が甘いと思う。災害は突然発生するものであり、職員は災害に対して常に意識し取り組んでほしい。

④ 審議会委員意見

全体の分野にかかることだが、分野別計画には歴史文化に触れている記載があるので、風土を認識するという言葉を記載してはどうか。地域それぞれの風土により今があるので今後伝えていく必要がある。

・ 会長

風土については、基本計画の上にある基本構想に記載している。風土は全体にかか

るものであるので、分野別計画には記載しない。

- ・ 事務局

重点プロジェクトのILCを基軸としたまちづくりの現状と課題には、「本市に広がる豊かな風土や美しい自然、伝統ある特有の文化などの魅力を市民が再認識するとともに、その魅力を国内外に広く発信していく取組が必要である」と明記している。

⑤ 審議会委員意見

まちづくりの進め方 2 健全な行財政運営について、「分かりやすく親しみやすい広報紙を目指し」とあるが、市ホームページについても分かりやすいものとしてほしいので記載をしてほしい。

⑥ 審議会委員意見

2-1 都市間交流、国際交流 施策の展開(1)多様な交流活動の推進の④に「小学校における」という記載があるが、総合的な学習や社会教育事業は中学校でも実施しているので、中学校についても追加してほしい。

⑦ 審議会委員意見

3-2 義務教育・高等教育等 施策の展開(1)教育内容の充実⑩に「コミュニケーション能力の養成」とあるが、能力なので育成とした方がよい。

⑧ 審議会委員意見

1-5 観光 施策の展開(2)体験型観光の振興について、もち食文化、ニューツーリズムと連携した取組についての記載があるが、他にも紙すき体験など市内で体験型観光に取り組んでいるものがある。市内で取り組んでいる体験型観光全体を推進するという文言にしてはどうか。

- ・ 会長

「いちのせきニューツーリズム協議会と連携して」をカットする方法と「連携した体験型観光をはじめ様々な体験型観光」とする記載の方法と2通りあると思う。ご意見を反映する方法については市で検討することとする。

⑨ 審議会委員意見

1-5 観光 に関連して、森は海の恋人として植樹事業を行っているが、フィリピンから小中学校の先生が10人ほど視察にきていた。海外では環境保全について関心が高まっているようであり、今後も視察などがくると思う。このようなものも盛り込んでいけばもっと良いものになると思う。

- ・ 会長

国際的な広域連携という書き込み方もできるし参考になると思う。

⑩ 審議会委員意見

まちづくりの進め方の1 市民と行政の協働のまちづくりについて、地域住民が主体的に行うという書き込みについて薄いと思うので、地域住民が行うことについて記載をお願いしたい。

・ 会長

地域住民が行うことについては記載がない訳ではないので、これについては市で検討してもらうこととする。

⑪ 審議会委員意見

農業だけではないが、農業が一番はじめに影響を受けることになるTPP問題について、どのようなダメージを受けるかそれによって計画の記載が変わってくると思う。今後変えていってほしい。

・ 事務局

TPP問題については今後、影響と対策がでてくると思われる。現在は国の対応状況が見えてこないが、変更が必要となる部分は今後の対応となる。

・ 事務局

本日いただいた意見については、担当課に確認が必要となるため、答申に反映させるのではなく、担当課で検討して答申後に反映させていただくこととしたい。

また、主な指標の目標数値等や市民の参画については、現在担当課で確認中であるので、今後、追加、修正等あると思う。ご理解いただきたい。

・ 会長

答申の内容については、最大限生かしてより良い基本計画を策定してほしいというものである。より良いものとしてほしい。

8 答 申

・ 会長挨拶

今年度は今日まで総合計画審議会を7回開催したほか、加えて重点プロジェクトについては、プロジェクトチーム会議を2回開催した。基本構想の考えをできるだけ基本計画に書き込もうということで皆さんに熱心にご審議をいただいた。多くの市民の皆さんからのご意見をできるだけ反映させるよう努力したものである。

基本的な考え方としては今の時代に策定したものだとはっきりわかるように時代性を意識して策定をした。地方創生の動きを入れ込んで、人口がどんどん減少していく現状において、ふるさと一関が住んでいる人間がわくわくして毎日楽しく暮らせるような基本計画をつくりたいと思っていた。前回の会議から今回の会議にかけて、栗駒山が噴火した際の防災の備えについての意見がでた。上水道の水源の確保についても追加していただいた。時代性を反映できたことは、私たちの柔軟なところであり、委

員の皆さんの積極的なご意見に感謝申し上げます。

- ・ 市長挨拶

これまで7回の審議会を開催していただき、熱心な審議をいただいた。私自身想定していなかったプロジェクトチーム会議についても主体的に設置していただき、重点プロジェクトについて議論を深めていただき答申に盛り込んでいただいた。深く感謝を申し上げます。答申をいただくまでの間に多くの市民の皆さんに直接、間接に関わっていただいたことも大きな特色であろうと思う。答申の内容を最大限に尊重し、計画本体に盛り込んでいきたいと思う。

ベトナム出張から戻ったところであるが、ホーチミン貿易大学を視察して、大学生の皆さんは自分たちの地域を真剣に考えているところに遭遇した。これから伸びる国だと感じた。若者と話をした中で、自分たちの国が高齢化社会を迎えるという認識はない。現在の人口はきれいなピラミットの形である。今のうちから考えた方がいいというアドバイスをしたところ。完全ではないにしても日本の介護システム、保育システム等参考になるところがあれば、ベトナムの人材育成に一関市として貢献できるのではないかと考えている。

そういうところも含め、新しい総合計画の策定においては、国内だけではなく世界にも目を向けて、今後一関市が国際社会の中でどうあればよいのか、という部分にまで踏み込みたいという思いもある。

答申については、しっかりと尊重し、計画に落とし込んでいきたいと思う。これまでの熱心なご審議に感謝申し上げます。

午後3時20分 閉会

9 公開、非公開の別 公開

10 傍聴者の数 3人

11 担当課 市長公室政策企画課